

「九重町地域公共交通計画（素案）」に対するパブリックコメントの結果

番号	該当箇所	ご意見の内容	町の考え方及び反映状況	参考資料				
1	p6 5行目	飯田高原線について、観光客も利用している路線だが、飯田公民館での乗り換えが非常にわかりづらく、利用を進めづらい。バスを乗り換えさせる必要があるのなら、利用者が待ったり、トイレに行けるように、吊り橋での乗り換えにすべきと考える。	<p>コミュニティバスは交通空白地を自家用有償旅客運送として運行するものであり、生活交通として住民の利便性を第一に考えていく必要があります。飯田交流センターは、地域活動や住民交流の拠点であり、小学校や郵便局等も周囲に存在し、生活交通の拠点として利便性が高いことから、飯田地区の拠点と捉えています。</p> <p>九重縦断線を地域内幹線、飯田高原線を地域内支線と捉え、幹線への接続を図っている現在の運行体系において、飯田高原線は飯田交流センターを拠点として千町無田又は筋湯・湯坪方面を運行しており、九重“夢”大吊橋までは走行しておりません。現在の「飯田公民館での乗り換えがわかりづらい」という問題を解決するために、まずは接続の改善や利用者にとって分かりやすい情報発信に取り組むことで、観光交通としての利便性向上を図ってまいります。</p>	①				
2	p8 6行目	インターネットで Google マップなどに表示させることやバス停案内放送やバス停を多言語化表示させることを行ってほしい。観光利用者が増えることは、結果として地域交通網の維持につながるのではないか。	観光客の利便性向上に向けた取組としては、運行路線やダイヤの見直しによる他の交通機関との接続改善、及びインターネット上でバス停や運行ルート等が検索できる仕組みの導入を予定しております。	②-1 ②-2				
3	p8 6行目	「バス利用に関して車内案内やバス停案内を多言語対応」や「多言語でのウェブ情報と連動して」という文言を追加すべきである。観光客の利便性を高めると、毎回書いているが、何も政策として進んでいないように感じる。	<p>観光客向けの情報発信については、実施事業の「観光施策と連携した移動サービスの提供」（P 17、P 21）に掲載しており、「車内案内やバス停表示の多言語対応」について、取組内容に下記のとおり追加します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 5px;">変更前</td> <td style="padding: 5px;">協力体制を構築し、 _____観光振興に繋がるような施策を検討</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">変更後</td> <td style="padding: 5px;">協力体制を構築し、<u>バス停の多言語化や国内外に向けた情報発信など</u>、観光振興に繋がるような施策を検討</td> </tr> </table>	変更前	協力体制を構築し、 _____観光振興に繋がるような施策を検討	変更後	協力体制を構築し、 <u>バス停の多言語化や国内外に向けた情報発信など</u> 、観光振興に繋がるような施策を検討	②-3
変更前	協力体制を構築し、 _____観光振興に繋がるような施策を検討							
変更後	協力体制を構築し、 <u>バス停の多言語化や国内外に向けた情報発信など</u> 、観光振興に繋がるような施策を検討							

「九重町地域公共交通計画（素案）」に対するパブリックコメントの結果

4	p 15 ①	<p>DX化の内容をもう少し具体的に記載してほしい。何をどうするのか が明確でないと、担当者が変わった時に事業が進まなくなる恐れがある。</p>	<p>「公共交通のDX化による利便性向上」の取組については、停留所の名称や位置情報、運賃情報、時刻表及び走行中のバスの位置等をインターネット上で検索できる仕組みの導入、及びパソコンやスマートフォンを活用してデマンド交通を予約できる仕組みの導入を予定しています。具体的には、「標準的なバス情報フォーマット（GTFS）への対応検討」及び「バスロケーションシステムの導入検討」、「ICTを活用したデマンド交通システムの導入」といった事業に取り組みます。</p> <p>（※）標準的なバス情報フォーマット（GTFS）とは、世界標準の公共交通データフォーマットのことで、この形式でデータを整備することにより、Google マップ等への情報掲載が可能となります。</p> <p>（※）バスロケーションシステムとは、GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステムで、このシステムを導入することで、リアルタイムでバスの位置情報を確認することが可能となります。</p>	③-1 ③-2
5	p 77 (8)	<p>乗り継ぎが良かったらと、ずいぶん前から思っている。（コミバス⇔JR、コミバス⇔高速バス、コミバス⇔玖珠観光バス、日田バス）乗継が便利になることで、利用者も増えてほしいが、自分もなるべく利用するようにしたい。（飯田の東部地区在住なのでJRから九州横断バス、亀の井バスを利用している。）</p>	<p>乗り継ぎの利便性向上については、他の交通機関のダイヤ改正等に対応しつつ、接続改善に向け適宜見直しを行います。</p>	④-1
6	p 77 (8)	<p>地域から公共交通がなくなると寂しく過疎化が進み、集落数（世帯数）も減る。折角、コミュニティバス事業をしているので、利用すべきだと思う。他自治体が実施しているコミュニティバスのように、利用者ポイント（カード）等をつける等、乗りたい、乗ってみたいと思えるコミュニティバスになってもらいたい。民間の亀の井バス・玖珠観光バスも同様路線を維持してもらいたい。</p>	<p>公共交通の維持については、運行を支える人材確保が急務であり、運転手の担い手不足、高齢化に対応するため、新たに資格取得の支援事業の検討・準備を進め、公共交通の維持に努めてまいります。また、ポイント制度の導入等につきましても、公共交通利用者の増加に向け、他の事業との兼ね合いや費用対効果等も踏まえながら検討を行います。</p>	④-2 ④-3